

Sunflower

健和会大手町病院広報誌



特集 健和会大手町病院 消化器内科



地域における消化器診療の中核として

迷ったら当院へ。迅速対応の消化器内科

地域における 消化器診療の 中核として

迷ったら当院へ。
迅速対応の消化器内科

健和会大手町病院 副院長・消化器内科
佐竹 真明 Masaaki Satake

消化器疾患は出血や感染、閉塞など、初期対応の遅れが予後に直結する領域です。当院消化器内科では「見逃さない、遅らせない」を基本方針に、地域の先生方および消防隊の皆様と連携しながら、迅速かつ的確な診療体制の構築に取り組んでいます。

24時間365日対応する「消化器救急」

当院の強みの一つは、24時間365日対応の消化器救急体制です。吐血・下血などの消化管出血に対する緊急内視鏡、胆管炎に対する緊急ERCP、イレウスに対する内視鏡的減圧やステント治療など、急性期病院として必要な初期対応から専門的治療まで一貫して対応可能です。まずは状態を安定させて、その場で治療まで完結させることを重視しています。

豊富な内視鏡実績が支える「確かな専門力」

内視鏡診療では、年間胃カメラ5,000件以上、大腸カメラ1,000件以上、ERCP約250件と豊富な実績を有しており、良性疾患から悪性疾患まで幅広く対応しています。近年増加している胆道感染症や高齢者の消化管出血にも柔軟に対応できる体制を整えています。

地域と共に診る「連携医療」

地域連携を重視した診療も当科の特徴です。精査・加療後は速やかに紹介元へ逆紹介し、慢性疾患については地域の先生方と役割分担しながら継続診療を行っています。「送りっぱなしにしない」ことを大切にしています。

具体的には、黒色便や吐血、進行する貧血、原因不明の腹痛、発熱を伴う腹痛、黄疸などの症例は、消化器救急疾患が隠れている可能性があります。重症かど

うかの判断に迷う場合でも、まずはご相談ください。当院では「電話一本」でのご相談から受け入れまで迅速に対応します。救急搬送においても消化器疾患が疑われる場合には積極的に受け入れを行っています。

「判断に迷う症例」積極的に対応

当科では救急症例だけでなく、食欲不振、体重減少、慢性的な腹部症状、軽度の肝機能異常など、いわゆる「判断に迷う症例」の精査にも積極的に対応しています。外来での精査後は、可能な限り紹介元の先生へ速やかに逆紹介し、日常診療は地域で継続していただけるよう配慮しています。

今後は、超音波内視鏡（EUS）や肝疾患診療体制の強化を進め、より高度で専門性の高い診療を提供していく予定です。また、院内外の連携をさらに強化し、地域全体で消化器疾患に対応できる体制づくりを目指しています。

早期対応が鍵「いつでも相談を」

消化器疾患は「様子を見る」ことで悪化するケースが少なくありません。判断に迷う症例こそ、早期にご相談いただくことが患者さんの予後改善につながります。迷った際は、まずはお電話ください。迅速に対応いたします。

また、食欲不振、慢性的な腹部症状、軽度の肝機能異常などでのご紹介も歓迎しております。

佐竹医師プロフィール

出身大学 山口大学（1999年）
専門資格 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、
九州支部評議員
日本消化器病学会専門医・指導医、
九州支部評議員
日本肝臓学会肝臓専門医
日本内科学会認定医



研修のデモンストレーション



内視鏡カメラの洗浄機



検査予定のチェック

健和会大手町病院 消化器内科の強み

胃カメラ 年5,000件

大腸カメラ 年1,000件数

ERCP 年250件数

各種内視鏡検査についても医師体制の充実に伴い、年々件数を増やしています。急を要する紹介検査にも積極的に対応します。

内視鏡検査実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上部消化管内視鏡	4,354	4,765	4,952	5,337	5,735
下部消化管内視鏡	589	632	754	857	1,009
内視鏡的 逆行性胆管膵造影検査	141	168	208	261	279

快適・迅速な診療環境

内視鏡カメラ 4台

院内WiFi完備

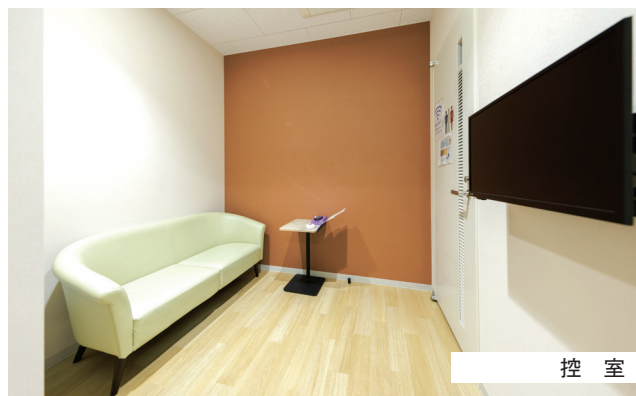
トイレ完備の控室

内視鏡カメラ4台を有しており、複数検査の同時進行が可能です。患者さんの待ち時間を軽減し、迅速な検査をご提供します。

また、大腸内視鏡検査を受ける患者さんの検査前処置はトイレ・テレビ完備の個室で行うことができるため、プライバシーにも配慮した快適な環境です。



内視鏡室



控室



前処置スペース

充実の医療体制



常勤医3名に専攻医2名を加えた医師5名体制で、各種の内視鏡検査・治療やさまざまな紹介にも迅速に対応します。

副院長／消化器内科

佐竹 真明 (写真中央)

医長／消化器内科

龍野 奈央子 (写真右上)

【出身大学】岡山大学(2015年)

【専門資格】日本内科学会認定内科医

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本肝臓学会肝臓専門医

医長／内科・消化器内科

大野 朋子 (写真左上)

【出身大学】大分大学(2011年)

【専門資格】日本内科学会認定内科医

専攻医／内科・消化器内科

新里 航 (写真右下)

【出身大学】琉球大学(2019年)

専攻医／総合診療科・消化器内科

出口 菜摘 (写真左下)

【出身大学】熊本大学(2020年)

患者様のライフスタイルや不安に寄り添って



当科は女性医師が過半数を占めており、そのメリットを生かして患者様のライフスタイルや不安に寄り添ったきめ細やかな診療を心がけています。消化器がんの早期発見には検診や定期検査が不可欠であり、苦痛の少ない検査や土曜日の下部内視鏡検査の実施で受検率の向上を目指しています。

消化器内科 医長 龍野 奈央子

働き方改革以前より「主治医制」から「チーム制」へ移行しており、柔軟な勤務環境のおかげで、1歳と4歳の子育てをしながらも地元である北九州の急性期医療に携われていることに幸せを感じております。地域医療の窓口として、先生方の大切な患者様が安心してスムーズに専門的な検査・治療を受けられる体制を整えておりますので、お気軽にご相談ください。

多職種でのチーム医療

医師5名に加えて、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、事務など数十名のスタッフ体制で内視鏡室や2つの消化器内科系病棟（東7階・西5階）を担当しています。医師による内視鏡検査・治療の補助、機器の管理、入院中のケアや退院支援など、各職種が専門性を発揮した医療活動を行っています。



退院後も見据えた看護ケアを

東7階病棟 看護師長 **西村 美穂** (写真上)

西5階病棟 看護師長 **矢野 正泰** (写真下)

当病棟では、急性期から慢性期まで幅広い消化器疾患を対象とし、内視鏡診断・治療、肝疾患管理など医療ニーズに対応しています。症例のバリエーションが豊富で、多職種が密に連携しながら、質の高いチーム医療を提供しています。急性期治療に加え、退院支援、生活指導、ACP(アドバンスケアプランニング：人生会議)など患者の価値観を尊重した意思決定支援を重視しています。

疾患の特性上、退院後の生活管理が予後に大きく影響するため、早期からの介入と多職種共同が不可欠です。専門性の高い領域であるからこそ、学び続ける姿勢を大切に、より良い医療提供体制の構築を目指します。



内視鏡室で従事する技師

臨床検査技師 主任 **穂吉 美智子**



当院内視鏡室は臨床検査技師が7名、臨床工学技士が4名所属しており、うち5名が消化器内視鏡技師を取得しています。

内視鏡室での技師の役割は、内視鏡検査や治療において内視鏡医師の指示の元、生検や止血処置、ERCP、ESD介助と内視鏡洗浄・消毒、機器点検などの技術的な支援等を行っています。臨床検査技師は検査後のピロリ菌検査の実施、病理検体、細菌検体の処理、検査依頼の確認、臨床工学技士は、内視鏡機器の管理など各分野で貢献しています。

医療現場でのチーム医療の重要性を理解し、専門的な知識と技術を活かして患者さんに質の高い医療が提供できるように努めています。そのために定期的なスキルアップ研修やWEB講習等に積極的に参加しています。

肝炎チーム発足



当院では、肝疾患の早期発見・早期治療ならびに地域の皆様の健康増進を目的として、多職種で構成する【肝炎チーム】を発足しました。

肝炎・肝疾患は、自覚症状が少ないまま進行することがあり、早期の発見と適切な治療・継続的な管理が必要です。当チームでは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・事務などが連携し、患者さんや地域住民の皆さまへの支援に取り組んでまいります。

また、当院は福岡県肝疾患専門医療施設として肝がん・重度肝硬変の治療の助成対応も可能であり、経済的理由で治療が困難な方もご相談にも応じています。

福岡県肝炎コーディネーターも多数在籍しておりますので、何かあればいつでもご相談ください。

活動内容

- 1 ウィルス肝炎の拾い上げ**
未治療・未受診のウィルス肝炎を見逃さず受診につなげています。
- 2 化学療法や免疫抑制療法に伴うB型肝炎の再活性化対策の推進**
- 3 職員への肝疾患に関する知識の普及と教育活動**
- 4 アルコール性関連肝疾患**
アルコール性肝疾患の患者さんによりそい、開業医や精神科の先生方と協力しながらとぎれない医療を行います。
- 5 市民啓発**
市民公開講座や助成を使った肝炎検査などを計画します。



チーム消化器内科



消化器疾患を見逃さない。
必要な治療を遅らせない。
地域の消化器診療をチームで支える。



公益財団法人 健和会
健和会大手町病院

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町13-1
TEL 093-592-5530(連携室直通) | FAX 093-592-5966

●広報誌に関するご意見・ご要望は上記までお願いします。差出先の明記がある方には直接ご連絡にて説明させて頂くこともあります。



<https://otemachi.kenwakai.gr.jp/>